(-)

顕著化するも各国

われわれは遺族の相互扶 助、道義の高揚につとめ、 平和日本建設に寄与し、 争の防止、世界恒久平和の 確立を期するを信条とす る。



行 所 〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟 電話代表 086-271-7175 086-271-4815 郵便振替岡山01230-9-3532 岸豊 清始 本 美男 西尾総合印刷株式会社 定価(郵税共)年額1,200円 ームページ http://izoku-okayama.jp/ 日本遺族会では二月二

いて理事会、評議員会を 十五日休、九段会館にお た。 同予算案を審議し決定し

役員改選(新役員の氏名 開催し、任期満了に伴う 度活動方針・事業計画案、 告に続いて平成二十二年 は二頁に掲載)を行うと 遺族運動の経過報 |る ^総理等の靖國神社参 |も遺族会の基本方針であ は、 共に、新たな追悼施設建 拝の推進、を堅持すると 新年度の英霊顕彰運 鳩山政権下において

設の動きには実力行使も

視野に入れて運動を進め るとした。 求めると共に、特別弔慰 現状から、今後とも国家 金の支給範囲拡大に努め 補償の理念により改善を は、高齢化が進む遺族の るとし、処遇改善運動で はじめ、組織未加入者へ っており、財源の確保を の強化が大きな課題とな を推進するうえで、組織 の啓蒙に最善の努力を払

また、これら遺族運動

ととしている。 とはできない。 業計画は次のとおり。 決定した活動方針・ 如何なる

は決して降ろしてはなら 靖國神社参拝の旗印だけ の基本方針である総理の 困難があろうとも、本会

する処遇改善については、

堪えない。 を祝った。誠にご同慶に 成婚五十年を迎えられ、 全国各地で両陛下の慶事 民主・社民・国民新三党 が歴史的な惨敗を喫し、 の総選挙において自民党 の連立政権が誕生し、

鳩

年、天皇、皇后両陛下ご

天皇陛下ご即位二十

極めて不透明である。 みがそろわず、先行きは

我が国にあっては、

先

政策は断じて看過するこ なでする様な、これらの 皇室におかれて

復の兆しは見えてこない。 ショックが未だ尾を引き、 ると、一咋年のリーマン 部の国を除いて景気回 方、世界に目を向け 地球温暖化問題が

[の足並 御霊に対する尊崇と感謝 山内閣が発足した。 の誠を示さないばかりか、 れる二百四十六万余柱の なられた靖國の社に眠ら 靖國神社には参拝しない 鳩山総理は、 国の礎と

> 神社への参拝自粛を求め、 新たな国立の追悼施設の 更には靖國神社に代わる 建設をも明言している。 戦没者遺族の心情を逆 各閣僚にも靖國 ない。

会議開催にあたり挨拶する古賀日本 (2月25日:九段会館) 策定し、

我々が今日、平和と自 活 英霊顕彰運動の推進 動

平 一日ま 成

よるものであることに思 由の恩恵を享受できるの 戦没者の尊い犠牲

遺族会会長

また、戦没者遺族に対 治を総括し、真の保守政 ならない。 治の回帰に努めなけれ ここに平成二十二

の活動方針・事業計画を 懸案解決に邁進 二年度 の継承に努める。

方 針

事業仕分けの対象になら 国家補償の理念に基 議会との連携を密にし、 遺家族議員協 一づき

法人のいずれかへ移行し

い組織の再構築を図るこi等の動向を注視していく 没者遺族の処遇等の影響 については、政府、 政権交代による今後の戦 これも一致結束した運動 今こそ初心に立ちかえり、 遺憾にたえない。我々は、 れようとしている。誠に 霊の尊い御心も忘れ去ら の賜物である。しかるに、 心ある国民と共に戦後政 極めて厳しい財政状況と、 必要がある。 予算に概ね計上された。 項が平成二十二年度政府 費を含め、 項目であった洋上慰霊経 にもかかわらず、最重点 民主連立政権下にあった 戦後も六十五年が経過 先の大戦も、また英 本会の要望事 国会 骸化するだけで何ら国益 貫 が、これは靖國神社を形 設の建設をかかげている れることは極めて当然の 謝の誠を捧げることを決 は戦没者に対し尊崇と感 いをいたし、 わる新たな国立の追悼施 靖國神社への不参拝を明 ことである。 靖國神社に、 国唯一の追悼施設である して忘れてはならない。 て内閣総理大臣が参拝さ しかるに、 その戦没者を祀る我が

鳩山総理は

更には靖國神社に代

これらの建設を断固阻止 とはならない。我々は、 また、

大東亜戦争の正

族も多い。そうした遺族 を余儀なくされている遺 齢化が進み、一人暮らし 二、処遇改善運動の推進 対する処遇も、 戦没者遺族は

ど、良き固有の精神文化 め、歴史・伝統・文化な しい歴史観の確立をはじ 一段と高 度改革については、 でに、公益社団・財 二十五年十一月三十 慰金受給者や、 人または一般社団・財

運動を推進する。 改善される様、 組織の拡充強化 引き続き

国家、

日本遺族会

いるが、 組織の再構築を推進して ある戦没者遺児を中心に していかなければならな 英霊の顕彰と戦没者遺族 って、 い。このため、後継者で 本柱であり、今後も推進 の福祉の向上は本会の二 高齢化が著しい中に 本会の使命である 未だ途半ばであ

国を代表し

事業を企画実施するなど を自覚し積極的にこれに 組織の後継者であること 続き努力する。 て組織の再構築に引き 女性部は、 女性部に相応しい 女性遺児が

親善事業及び遺骨収集事 に施行された公益法人制平成二十年十二月一日 を行うなど、入会を促進 対して積極的な働きかけ して組織の拡充に努める。 業参加者等の未加入者に また、継続して特別弔

組織活動の維持には財

本事業は実施以来十九

(二)

関係官庁や友好団

体等と連携を密にし遺漏

最終的には九百名余の参 回る応募者があったが、

協力する。

(1)

総理・閣僚の靖國神

と連携を密にして以下

稔

出

県関係日

I遺役I

②常任顧問 顧

問

正

* * 理監

清美

(県連盟会長)

寧

(〃 副会長)

"

副会長

*評議員

(専務理事兼務) 森田 ◎副 会

会

長 長

(埼玉県) (岩手県)

(岡山県) (愛知県) (福島県)

(静岡県)

(敬称略)

◎常任理事 藤原一二三

重

晴夫

誠

新

押方

重晴 千秋 正徳 研正

(宮崎県 (熊本県)

富高田橋

(愛媛県)

(富山県)

日本遺族会

的な広報活動を行う。 や機関紙等を活用し積極 金の確保に努める。 あらゆる方途を講じて資 このため本部・支部共、 更には、ホームページ の確立が欠かせない。

頼をするなどして参加者 村の広報誌等への掲載依 業は各支部等の協力を得 業等の推進 遺児の慰霊友好親善事 全国の千八百市区町 の最重要事業と位置づけ 施する洋上慰霊を本年度 周年の記念事業として実 特に、慰霊友好実施二十

事業および遺骨収集事

託されるよう努力する。 事業が本年度も本会に委 増大に努めると共に、同

遺児の慰霊友好親善

収集事業に積極的に参加 また、政府主催の遺骨

を募った結果、千名を上

める。 において戦没者遺族に相 を通じて、国内や旧戦域 よる慰霊友好親善事業等 五、社会奉仕活動の推進 本会に委託されるよう努 重要性に鑑み、引き続き 業」についても、事業の 未送還遺骨情報収集事 ランティア)を引き続き 応しい社会奉仕活動(ボ 碑等整理事業」や 更には、「民間建立慰霊 各支部の協力、遺児に 海外

徹底をはかり、参加者の

動を通じて本事業の周知

き各支部の協力と広報活

とどまっており、引き続 は一万六百五十名余りに 年を経たが、未だ参加者

事 業 計 画

企画実施する。

英霊顕彰運動

とである。 あり、極めて当然のこ 独立国としての基本で 謝の誠を捧げることは 拝し、英霊に尊崇と感 代表して靖國神社に参 社への参拝運動の推進 内閣総理大臣が国を

向を勘案し、英霊に

要請文による陳情

国会及び世論の動

こたえる会をはじめ

ものでもなく断じて容 このことは誠に遺憾で 自粛を要請している。 認することはできない。 た英霊を冒涜するなに 各閣僚に対しても参拝 靖國神社に参拝しない ことを明言すると共に、 しかし、 国の礎となられ 鳩山総理は 2

理解と協力を求める

遺族の心情について

現政権に対して、

ハガキ等の陳情運動

(イ) 環境整備 世論喚起

を行う。

英霊にこたえる会

新役員を代表し挨拶する古賀日本遺族会会長 (2月25日:九段会館)

る働きかけを行う。

2

世代交代が進み、全 世論の喚起に努める。 など他団体と協力し との友好親善に引き 治に回帰するための るなどの街宣活動や て、各地でビラを配 続き努力する。 を積極的に行う。 ーネット等への投稿 国会対策 国会議員も一段と 更には、近隣諸国 また、真の保守政 雑誌、インタ

携し、靖國神社への とする関係団体と連

総理の参拝を文書を

窺える。 占め、先の大戦や靖 議員の約七十七%を 五百五十七名と国会 戦後生まれの議員が 名(二名欠員)中、 国会議員七百二十二 い議員が多いことが 正しい知識を持たな 國神社問題について 社に参拝するよう要請す

会」への入会を促し、 拝する国会議員の んなで靖國神社に参 国会議員に対し、「み 本部支部一体となっ て靖國神社問題に対 このため、与野党 参拝を要請する。 歴史観の確立 大東亜戦争の正しい

関係団体と協力し、 戦没者遺族は、 がある。 けて動き出すことも十分 府の動向を注視する必要 考えられることから、 ったが、今後、建設に向 めの調査費は計上しなか 年度政府予算に建設のた 鳩山内閣は平成二十二 政

する。 けての動きがあれば、 努めると共に、建設に向 も辞さぬ覚悟で断固阻止 団体と連携して実力行使 このため、情報収集に 他

びメールによる陳情

ハガキ、FAX及

もって要請する。

及び八月十五日に護國神 (3) は、知事が春秋の例大祭 各道府県支部にあって 運動の推進 知事の護國神社参拝

き都知事の靖國神社への 団体と協力して、引き続 東京都においては、 他

する理解と協力を得 争の正しい歴史観の確 に基づき、「東京裁判史 遺族会のあるべき姿」 立に引き続き努力す 観」の払拭と大東亜戦 員会の報告書「今後の 終戦六十周年特別委

> 承する。 語りべの会」等の組織 教育機関等

や巡回特別企画展を通また、昭和館の展示 争の愚かさと平和の尊 じて、戦中・戦後の国 を通じて若い世代に継 努力する。 さを訴え、その啓蒙に に伝え、若い世代に戦 民生活の労苦を後世代

霊祭等の実施 市区町村における慰

考えるとき、その責任は 犠牲となった方々が対象 自治体が果たした役割を 先して主導すべきもので 永遠に免れるものではな の徴兵制度において地方 であり、また、戦前戦中 のでなく、各自治体が率 慰霊祭は遺族だけのも 家族の幸せを願い 国の平和と郷土の

の責務であり、未来永劫 顕彰は地方自治体の永遠 の意見もあるが、英霊の 慰霊祭を打ち切りたいと いる等の理由で追悼式や の遺族の参列が減少して 合併等や、戦没者の直接 ん施することを求める。 市区町村は、平成の大 地域住

を行うと共に、任期満了

* 部 ◎女性部

長

関口

きよ

(東京都)

西村

隆之 祐吉

齋藤よし恵

(福島県)

中稲

寿

ΙİŢ

伴う役員改選を行っ

高橋 フミ

(長崎県

野間

年度日本遺族会活動方

新役員は次のとおり。

長藤瀬田

美栄

孝子

(兵庫県) (青森県)

敬称略

* 幹

事

女性部長会を開催し、新 月二十八日、九段会館で

出した。

針・事業計画案並びに同

予算案について意見交換

(三)

前日の二十七日

野村しげ子

(滋賀県

(鹿児島県 (岡山県) (大阪府)

*副部長

日本遺族会女性部は一

には事務局長会が開催さ

三浦

妙子

(青森県)

◎事務局長協議会

*幹事長

田田

周二

(宮城県)

部事務局に負うところが

高高

ミ氏(長崎県)

日本遺族会廿性部

れ、同協議会新役員を選

*相談役

(1139)加協力する。 願う行事等に積極的に参 民らと世界の恒久平和を

力する。

参列にも努める 更には、児童・生徒の

千鳥ケ淵戦没者墓苑及び 靖國神社、護國神社 靖國神社等との連携

十二歳、受給者数が約九 の使途を考察すれば、保 支給される公務扶助料等 れるなかで、その遺族へ 万人を割る状況が見込ま 受給者の平均年齢約九 公務扶助料等の改善 力する。

密にして相互理解を深め 各種慰霊団体との連携を

ける不測の事態に備える。

また、必要に応じて政

おいて英霊顕彰の各種事 力して、中央及び地方に 英霊にこたえる会と協 適 一づいて改善が行われるよ 後も国家補償の理念に基 ど戦没者遺族にとって生 きて行くための重要な糧 この現状を直視し、 今

行動を実施するなど、

府・国会等に対して抗議

健医療費、日常生活費な

組織の拡充強化、組織の拡充強化

時適切な運動を行う。

また、靖國神社崇敬奉 う強く国に働きかける。 囲の拡大 特別弔慰金の支給範

業を企画実施する。

賛会の事業に引き続き協 て弔慰の意を表したもの 特別弔慰金は、国とし

一、戦没者遺族の処遇改 |に対し、速やかに支給さ | れるよう制度の改善に努 | 場合、その残された遺族 |事から、引き続き公務扶 助料等受給者が失権した れないという証でもある であり、国は戦没者を忘

紙の配布等々、積極的 自覚し、慰霊祭への参 加、会費の徴収、機関 の後継者であることを 戦没者の遺児は組織

き続き新規会員の獲得 支部にあっては、 引

に支部の活動に参

加

と後継者の育成に努め 参加者等に対し、説 及び遺骨収集事業の 慰霊友好親善事業

通じて、その主旨、 象者に対し、簡単な 運動の経緯等を説明 請に関する相談等を 資料等を作成し、申 特別弔慰金受給対

明会や報告会等の会 会員とするように努 合を設け、漏れなく 4 引き続き、ブロック

すると共に、理解と 知を結集して基金の造成

を求め拠金等を働きかけ 本会の運営に関する理解 者にその主旨を説明し、 また、特別弔慰金受給

(富山県) (山口県) (栃木県) (熊本県)

動への参画を働きか 協力を要請し組織活

3 の充実と後継者の育成 者等の入部を促進し、 ると共に、各支部にあ 参加を積極的に要請す その活動を通じて部会 っては男性遺児の配偶 女性部に女性遺児の

問題である。このため英 状で財源の確保は深刻な にすると共に、情報の 会費の減少が著しい現 共有化をはかる。 会議を開催し連携を密 財源の確保

(3) 組織の拡充強化は、 支部事務局の強化

職員研修会を企画実施 すると共に、事務局長・ 強化をはかる。 し、本部、支部事務局の 支部相互間の連携を密に 続き本部、支部、更には 大である。このため引き

遺族会に関するパンフ

各支部の協力を得て

レット等を作成するな

事掲載を依頼する。

(4) 査を引き続き行うなどし 各支部は遺族の実態調 実態調査の実施

に努力する。 と共に、新規会員の獲得 一遺族会員の把握に努める て、会員名簿を整理して 機関紙の紙面に写真 啓蒙活動の実践

洋上慰霊を平成二十三年

三月に企画、実施する。

することが困難な地域の

を借り上げて、通常実施 周年記念事業として船舶 迎える。このため、二十 は本事業実施二十周年を

向上につなげる。 すく伝えることに努 遺族会活動をわかりや を多用するなどして、 め、会員の理解と意識 本会の運動や組織に

事業参加者等に対する るため、慰霊友好親善 施すると共に、迅速に 機関紙の個人購読の拡 直送などを引き続き実 大、市区町村支部への

③西部ニューギニア、④

業内容の見直しを行う。

◎平成22年度実施地 15地域 (予定)

域

加者の高齢化に伴い、実 率化をはかると共に、

参

T化を一層進め事務の効

更には、事務処理のI

施期間や実施地域等の事

3 処遇改善運動や慰霊巡 して、英霊顕彰並びに ホームページを活用

解される様、わかり易 らず、広く一般にも理 内容を遺族会員のみな 拝事業等の本会の活動 く、かつ正確な情報伝 新聞のパブリックスペー う努める。 地方公共団体の広報誌や 協力を得て、引き続き各

(6) 参加を呼びかける。 どして、 本会活動

0

なお、平成二十二年度

対する理解と協力を得 互協力態勢の確立に努め 法人に認可される様、相 だ不透明な部分も多いこ ければならない。 移行期間までに何れかの 議を重ね、本部、支部が とから、諸官庁と十分協 人のいずれかへ移行しな 益法人制度改革は、平成 または一般社団・財団法 でに公益社団・財団法人 一十五年十一月三十日ま 年余が経過したが、未 法律が施行されてから 本部、支部が抱える公

四 事業および遺骨収集事 遺児の慰霊友好親善

島、⑨ソロモン諸島、⑩

ア、⑥フィリピン、⑦ト

中国、⑤東部ニューギニ

購読者へ届くよう努め すると共に、各支部等の (1) 遺児の慰霊友好親善 ても本会に委託されるよ また、ポスターを作成 本事業が本年度におい ミャンマー、⑪インド、 笠原海域) シャル諸島、⑮洋上慰霊

③マリアナ諸島、④マー

⑫ボルネオ・マレー半島、

峡、フィリピン海域、

峡、フィリピン海域、小(沖縄、台湾・バシー海

区町村の広報担当者へ記 る。更に、本会から各市 スを活用して参加者を募 (2) 民間建立慰霊碑等整

導のもと地方自治体、関う努め、厚生労働省の指 続き本会に委託されるよ 係団体等と協力して実施 本事業も、本年度引き

ニューギニア、

◎平成22年度実施地域

ミクロネシア連邦、③イ ンドネシア、④フィリピ ①旧ソ連、②マリアナ・ 6地域 (予定) ⑤ミャンマー、⑥東

方、⑪モンゴル

戦跡慰霊巡拝

収集事業 海外未送還遺骨情報

本事業も、引き続き本

会に委託されるよう努 体等と協力して実施する。 もと地方自治体、関係団 め、厚生労働省の指導の 》平成22年度実施地域 2地域 (予定) ①東部ニューギニア、 する。 五 (1)①硫黄島、 各支部においては、

国内における社会奉 社会奉仕活動の推進

る組織強化を誓った。

などを研修すると共に、

ル岡山」において平成二十一年度第二回目の研修会を実施した。

岡山県遺族連盟女性部は二月二十八日田、

岡山市北区駅元町「ラヴィー

平成二十一年度の第二

②ビスマーク・ソロモン 妻等の家庭や施設を訪問 人暮らしを余儀なくされ ている年老いた戦没者の

厚生労働省の指導のも 霊碑維持管理事業 樺太・千島戦没者慰

太·千島戦没者慰霊碑 の良好な維持管理に努め して実施する。 き助成する。 については昨年に引き続 に合わせた行事等を継続 また、社会活動助成費

岡山県遺族連盟女性部第

女性部員120名が参加

スミルヌイフにある「樺

ロシア・サハリン州

に感謝する会や「母の日」 続き実施すると共に、母

と関係機関等の協力を得

ボランティア活動を引き

し、清掃や話し相手等の

(2) 海外における社会奉

毎月一日発行

政府主催の遺骨収集に

引き続き積極的に協

遺骨収集

· ② 東部 ける恵まれない子供たち フ協会や日本赤十字社を 対して、財日本ユニセ 先の大戦の旧戦域にお

に進んでおりません。

を継承することが私たち 走り続けた母たちの願い

女性部活動について

慰問や慰霊祭の実施・清 や研修会のほか、母への 市の大島路子氏が、総会 尾坂紀子氏、次いで笠岡

掃奉仕など、それぞれの

(1139)

①フィリピン、 11地域 (予定) 力する。

》平成22年度実施地

⑧沖縄・硫黄島、⑨ハバ 島、⑥パラオ、⑦インド、 ロフスク地方、⑩沿海地 ーク・ソロモン諸島、④ インドネシア、⑤アッツ ③ビスマ 久平和の実現〟 に向けて した戦没者遺族が等しく による深い悲しみを経験 思う、戦のない世界の恒 通じての援助等や、 啓蒙活動を行うなど、本 活動を引き続き企画実施 会にふさわしい社会奉仕

する。 本年度は以下に

拝は、各支部の協力を得

本会主催の戦跡慰霊巡

て2地域(予定)を実施

②フィリピ

管理をはかる。 *平成12年6月竣工 学校(ヤンゴン)

贈呈した小学校の維持 ら三年間で三校を建設 マ)へ平成十一年度か ミャンマー (旧ビル 2

北オカラッパ第14小 る衣類等の援助、小学

学校(ペグー)

*平成13年4月竣工 *平成14年4月竣工 学校(アキャブ) バンドゥータズー小

1

ついて推進することとす

の災害被災者等に対す 事業を通じて、旧戦域 遺児の慰霊友好親善

品・車椅子等を寄贈す 諸施設を訪問し、 ・孤児院・病院等の

万里の長城植樹計画等 の植林活動、中国北京・ 更には、 財オイスカ

カドウィンチャン小

協力する。

研修会では、各支部女性部の活動状況や英霊顕彰・処遇改善運動の課題 平均して五十%を切るよ 水落敏栄日本遺族会常任顧問の講演を拝聴 っております。反面、地 層ビルが次から次へと建 が、今、東京は新しい高 会で上京いたしました | うなことになっていま 方の製造業では受注額が 2 進んでいます。 に、境内の整備は着々と す。この様な地方の状況 の中の写真にあります様 ではございますが、資料 更 な

時三十分に開会した。

英霊に黙祷を捧げた

遺族会から女性部員ら百 回研修会は、県下各市郡

一十名が参加し、午前十

会長が挨拶に立った。



県連盟女性部第2回研修会 :ラヴィール岡山

(2月28日 り合って涙を流し、苦労 あってほしい〟という夢 日々、父たちの、平和で 動揺した日々、 を乗り越えてきた日々、 をお願いした。 を実現すべく、 中で小さな幸せを感じた 暗闇の中で心を震わせて 部長が「母と共に手を取 続いて、秀平良子女性 またその 一生懸命

その後、岡山市西大寺の

でありました」と報告、

らなければなりません。 にあわせて竣功奉告祭を 岡を賜ることにしていま していただきます様お願 ただき、遺族会の力を示 部の皆様方に頑張ってい そのためには、特に女性 課題解決に向けて、 題の解決は勿論のこと、 ます。我々遺族会の大き の参議院選挙が控えてい す。特に、水落先生は夏 て五月五日の春季慰霊祭 女性部の更なる組織強化 いいたします」と述べ、 とも水落先生を国政に送 特別弔慰金の改定など諸 妻特給の継続や五年後の な課題である英霊顕彰問 計画していますが、その 四月末には完成、 水落常任顧問のご来 日本遺族会の古賀会 るか無いかが大きな問題 に応えるべく活動をしな 先ず遺族会に女性部が有 が、しかし、①の女性部 いて進めたいと思います 改善運動への意見、など 意見、③英霊顕彰・処遇 ②女性部活動への提言 各支部の女性部長に対 拶を行うと共に、平成二 ければなりません」と挨 は誇りを持って、父や母 命を捧げました。私たち す。父たちは国のために の努めであると思 の活動状況については、 ていました。それに基づ のアンケートをお願いし の開催にあたって、予め 題として研修に入った。 性部活動について、を議 部副部長の司会により、女 十一年度の女性部活動に し、①女性部の活動状況、 藤原副部長は 続いて、藤原信子女性 いて報告を行った。 一研修会

祖国なくして大学なく、

ざるに至るべし。(中略)

されど皆かく考へるに至らば、最後には祖国を護る者、

世人或いは云はん。光雄一人くらゐ志願せずともよろしからんにと。

祖国なくして家もなし。

(中略)

光雄は祖国の急を救ふため、

男子の本懐として雄躍征って参ります。

(中略) 光雄が死ぬときは

間の後、家郷を出でんとす。(中略)

改善運動などについては

英霊顕彰・処遇

各支部から、①慰霊祭へ の追悼式の継続問題、⑤ 改善にかかる予算配分の るトラブル、③遺族処遇 ②特別弔慰金支給に関す の参加者増員を図る方策、 適正化、④各自治体主催

原英子氏(平成十九年・ 食後、研修2として ″慰 霊友好親善事業の参加報 ここで休憩に入り、昼 報告は岡山 を行った。 市岡山の笠

涙の出る限り泣いてください

海軍大尉

本

光

雄

命

の懸念、等が提議された。 権交代による諸活動停滞 慰霊碑の維持管理、 | 地域)、倉敷市玉島の浅野 中国地域)、津山市の神尾 間修子氏 好江氏(同二十年・沖縄 (同二十一年・

一際して不安、慰霊祭の状 が、それぞれ事業参加に 睦子氏(同二十一年・ボ ルネオ・マレー半島地域)

沖縄地域)、浅口市の北村 義を訴えた。 況や現地の人々との交流 などを説明し、

講演を賜った。 早々に、時局、について 県の研修会に参加されて 常任顧問が会場に到着、 いた水落敏栄日本遺族会 ここで、昨日から香川

世人或いは云はん。何も大学まで進みながら、最も危険なる航空に志願 光雄、このたび海軍予備学生に志願中のところ、採用予定者として一週 びます。心の中で呼んでも母ちゃんにだけは聞こえる様に呼びます。(中略) 天皇陛下萬歳、大日本帝国萬歳と呼んだら、すぐ心の中で母ちゃんと呼 せずともよろしからんにと。されど大学は立身出世の為の大学にあらず。 遂に一人も残せ!ます。いじめ、自殺など 一改正に携わって参りまし 規範の醸成とか倫理観の 家庭が一体となった社会 郷土や国を愛する心、日 件が相次いで発生してい まれた教育の憲法であり 本の文化・伝統、或いは る今日、学校或いは地域・ 閣で文部科学大臣政務官 就任早々の特別弔慰金の うとしています。この間、 だいてから早六年が経と は、「国政に送らせていた 道徳心や宗教心が埋め込 た。この改正基本法は、 を拝命し、教育基本法の 子供をめぐる痛ましい事 継続運動、そして安倍内 講演で水落常任顧問

事業の意 ません。その教育の結果 づいた教育は、 などは殆ど教えてきてい 統、家族・家庭の大事さ 任とか、日本の文化・伝 えました。個人尊重に基 社会の状況であります。 が現在の惨憺たる日本の した反面、公に対する責 利、平等を前面に押し出

ちの心に接し、このまま 守る素直な現地の子供た らも心豊かに一生懸命頑 中に遺骨収集事業に参加 張っている姿を見てきま 子供たちが、貧しいなが した。家族を想い、家を し、南方をはじめ地方の 私は日本遺族会に奉職

福島県双葉郡久之浜町出身 二十六歲

インドシナ東方海上にて戦死

昭和二十年三月十一日

ました。その様な危機感 に掲げられ、当時の鳩山 総選挙前の民主党政策集 らないと考えます。 を持って、人づくり・教 代表、岡田幹事長らが表 って憂慮されることは、 育をして行かなければな 大変なことになると思い 建設構想であります。政 の日本の教育では将来、 そして、政権交代に伴 す。 ろへ行きません。ご英霊 遺族との約束違反であり っても、我々遺族は決し て魂の無いその様なとこ

- potential

時局講演を行う水落日本遺族会常任顧問

補償ですので、

皆様のご

没者の遺族に対する国家 で国に尊い命を捧げた戦

も万全を期したいと存じ 支援をいただいて今後と

この夏には参議院議員

る様、その方策を考えな

方々が早く参加いただけ

これらの施策は、あくま ければなりません。当然、

で参拝自粛を求めており

ます。

しております。私たち遺 さんに会えると思い、今 たち遺児は、靖國神社に 中心とは認めない考えで 神社を戦没者慰霊追悼の の拠り所であります。と 族にとって靖國神社は心 行けば夫に会える、お父 験をした遺族、そして私 ころが、鳩山政権は靖國 日まで靖國神社にお参り 当時の、辛い悲しい体 仮に新しい施設を造 とは断固阻止しなければ どの様な展開になるかも 後の妻の特別給付金、そ 活給であります公務扶助 をお願いいたします。 が間違った方向に行くこ 十五年目となり、戦没者 があります。戦後既に六 賭けた五年後の特別弔慰 料等は勿論のこと、三年 なりませんので、ご協力 知れません。私たちは国 金の改正など多くの課題 して遺族会組織の命運を また、お母さん方の生

時代になってきました。 児の方々はもう平均七十 か参加することが困難な ばなりません。更に遺児 の遺骨収集も急がなけれ 一歳です。遺児もなかな 大勢の遺児 事務局が①日本遺族会女 払わなければなりません 分、第二回研修会を終了 を合唱し、 後の行事等を報告・説明 遺族会の会員調査、 盟会費並びに県下各支部 平成二十二年度県遺族連 年記念事業の経過並びに 県護國神社御創立百四十 ない様、正しい保守の政 国が間違った方向に行か います。私たち遺族は、 性部の役員改選、②岡山 ての協力をお願いした。 と講演を締め括り、参加 治を目指し、その努力を 選挙が行われます。その した女性部員に引き続い

御両親様 昭和十八年九月一日

(五)

平成22年

3月1日

生涯を光雄の将来に捧げたる母が慈愛に何と報へん(中略)でせう。かまはぬからお二人で涙の出る限り泣いて下さい。

(中略)

の豊かな心や精神を育成

することを目的としたも

復活を通じて、子供たち

ませんが、お父さんだって泣きたいのを男だから痩せ我慢して居るだけ

人様の居らぬ所ではいくら泣いても良いです。お父さんは怒るかも知れ

(原文のまま)

て日教組の偏向した教育

理は、更に自身の靖國神

府予算案に計上されませ

閣僚にま

んでしたけれど、

一従って、

権交代を果たした鳩山総

【平成二十二年三月 靖國神社社頭掲示】 は人々に大きな影響を与

(昭和二十五年八月十日) 第三種郵便物認可)

御創立140年記 3月現在の境内風



「新いさお会館」から社殿方向



社殿から「新いさお会館」を望む



「新いさお会館」から社殿へ続く回廊



新たに設置された参拝者待機所



社殿につながる回廊



回廊(参拝者待機所裏より)

19171211 8 日日日日日

平成二十二年五月行事

県戦没者春季慰霊祭・県護國神社御創立百四十年記 県護國神社春季慰霊大祭(県護國神社) 笠岡市遺族連合会総会(笠岡市老人福祉C) 念事業竣功奉告式典(県護國神社)

21 17 6日日日

高梁市高梁地区戦没者慰霊祭·総会 (高梁総合福祉C)

津山市遺族連合会総会(津山総合福祉会館) 靖國神社春季例大祭(靖國神社)23日まで 笠岡市戦没者追悼式(笠岡市民会館)

新見市上市地区戦没者慰霊祭(メモリーホール新見 岡山県ビルマ会春季大祭(岡山市・蓮昌寺大仏殿) 岡山市西大寺遺族連合会総会(神崎緑地プラザ) 岡山市北遺族連合会役員研修会(愛媛県方面) 岡山市瀬戸遺族連合会総会(瀬戸公民館) 加賀郡吉備中央町下竹地区戦没者慰霊祭(県護國神社 **具庭市月田地区戦没者慰霊祭(月田天神山忠魂碑)**

第一回選挙対策本部会議(九段会館) 岡山市津高地区遺族会総会(岡山市内) 岡山市瀬戸遺族連合会役員会(瀬戸公民館) 護國神社御創立記念日祭・崇敬会祭(県護國神社)

5 日

7 日

日遺女性部幹事会(九段会館)

平成二十二年四月行事表 県戦没者春季慰霊祭準備委員会(県護國神社) 総社市昭和地区戦没者慰霊祭(県護國神社) 県連盟理事·評議員·監事合同会議(県連盟大会議室) 岡山市上道遺族連合会役員会(上道公民館)

(靖國神社)

靖國神社御創立百四十年記念事業竣成奉告祭 岡山陸軍墓地春季彼岸祭(岡山市津高・旧陸軍墓地) 加賀郡遺族連合会研修会(岡山市内) 県連盟正副会長・常任理事合同会議 (県連盟会議室) 岡山市南遺族連合会総会(岡山市妹尾地域C) **倉敷市遺族連合協議会靖國団参・国会陳情** (東京方面)

2 目

遺 動

平成二十二年三月行事